

# 第 104 回品質管理シンポジウム（104QCS） 趣旨

テーマ：変化に対応できる，変化を生み出せる組織能力の獲得  
－TQMの実践と品質賞への挑戦を通じた成功例をもとに現状を検証する－

今日，組織を取り巻く経営環境は大きく変化しています．このため，組織がその使命を着実に果たし続けるには，変化を的確に捉まえ，自組織の置かれた状況や自組織の強みに応じた経営目標・戦略を定め，その実現に向けて従来の仕事のやり方を変えていくことが必要になります．しかし，考え方や価値観の異なる多くの人から成る組織では，お互いに連携することが難しく，従来の延長線上からなかなか抜け出せません．

このような状況を打開するための一つの方法論が TQM（Total Quality Management，総合的品質管理）です．TQM は，1960～1970 年代の日本において，欧米から導入された QC（Quality Control，品質管理）の考え方・方法を実践する中から生み出されたもので，多くの組織がこれを活用することで世界的な競争力を持つ組織へと発展していきました．現在では，日本だけでなく世界中で，製造業だけでなくレストランやホテルなどのサービス業，スーパーなどの小売業，さらにはエネルギー，通信，運輸，医療，福祉，教育，金融などのあらゆる分野で活用され，効果をあげています．

しかし，日本の組織の現状を見ると，世代交代に伴って，TQM の本質を理解しないまま部分的な取り組みを続けたり，経営環境の変化や自組織の実情を踏まえた独自の工夫が不足していたりなど，多くの問題が見られるようになりました．このため，十分な成果を得ることができず，TQM に対する熱意を失っているところも少なくありません．事業のグローバル化が進み，物とサービスを一体化した価値の提供が求められ，情報技術の革新によって新しいビジネスの可能性が広がっているにもかかわらず，部門間・組織間のより密接な連携やより多くの人を巻き込んだ活動の実践を支えるための組織能力の低下が懸念されています．

他方，デミング賞・デミング大賞などの品質賞を受賞している組織を見ると，経営環境の変化や自組織の強みを踏まえた挑戦的な経営目標・戦略を定め，従来の枠を超えたより広い範囲の，より深い TQM 活動に全員で取り組み，その過程を通して，変化に対応できる・変化を生み出せる組織能力の獲得と，経営目標・戦略の達成を，同時に実現しています．

本シンポジウムでは，デミング賞・デミング大賞を受賞した組織の実践例を試金石にして，各組織で行われている TQM 活動の現状を検証したいと思います．組織の置かれている経営環境が大きく変化する中，持続的な成功のためには，どのような組織能力が求められるのか，変化に対応できる・変化を生み出せる組織能力の獲得のために TQM は十分役立っているのか，より有効な経営ツールとして機能させるためにはどのような実践が求められるのか，などについて議論したいと思います．



第 104 回品質管理シンポジウム 主担当組織委員  
中央大学教授 中條武志

## 第 104 回品質管理シンポジウム（104QCS）プログラム（予定）

テーマ：変化に対応できる，変化を生み出せる組織能力の獲得  
 - TQMの実践と品質賞への挑戦を通じた成功例をもとに現状を検証する -

開催期日：2017年6月1日（木）～3日（土）

会場：ホテルオークラアクトシティ浜松

月日	時間	科目	講演者（敬称略）
6/1 (木)	19:40～20:40	<特別講演> 「お客様第一を基軸に 存在感と魅力ある企業を目指して」(仮題)	吉永 泰之 富士重工業(株) 代表取締役社長
	20:40～21:00	質疑・応答	
	21:00～22:00	グループ討論メンバー自己紹介	
	22:00～23:00	談話室（自由参加）	
6/2 (金)	8:30～8:40	主催者挨拶，オリエンテーション	一般財団法人日本科学技術連盟 理事長 佐々木 眞一
	8:40～9:20	<基調講演> 「TQMの実践と品質賞への挑戦を通じた，変化に 対応できる，変化を生み出せる組織能力の獲得」	中條 武志 中央大学 教授 ※104QCS 主担当組織委員
	9:20～10:30	<講演 1> 「変化に柔軟に対応できる経営を実現するため に必要な組織能力の獲得とTQM」(仮題)	砂川 博明 (株)キャタラー 代表取締役社長
	10:30～10:40	質疑・応答	
	10:40～11:00	休憩	
	11:00～12:10	<講演 2> 「顧客の信頼を勝ち取るために必要な 組織能力の獲得とTQM」(仮題)	長谷川 裕恭 (株)メイドー 代表取締役社長
	12:10～12:20	質疑・応答	
	12:20～13:10	昼食休憩	
	13:10～14:20	<講演 3> 「今日の経営に求められる組織能力と その獲得に向けたTQMの再強化」(仮題)	山本 忠人 富士ゼロックス(株) 代表取締役会長
	14:20～14:30	質疑・応答	
	14:30～14:45	休憩	
	14:45～15:55	<講演 4> 「グローバル展開に求められる 組織能力の獲得とTQM」(仮題)	中尾 眞 (株)ジーシー 取締役会長
	15:55～16:05	質疑・応答	
	16:05～16:15	グループ討論の趣旨説明	中條 武志
	16:15～17:50	グループ討論（1）	
	18:00～19:00	夕食（立食）	
19:10～21:00	グループ討論（2）		
21:00～23:00	談話室（自由参加）		
6/3 (土)	8:30～9:50	グループ討論報告（10分×7班 ※予備10分）	司会：中條 武志 報告：各班リーダー
	9:50～10:05	休憩	
	10:05～11:35	総合討論	
	11:35～11:45	第104回品質管理シンポジウム まとめ	中條 武志
	11:50～11:55	次回（105回）品質管理シンポジウム案内	105QCS 主担当組織委員
	11:55～	昼食・解散	